

SANKAKU

～お互いを尊重し、個性や能力を発揮できるまち～

VOL.4 2022年9月

発行元：人権啓発推進課

(男女共同参画担当)

第1回「てんつまCAFE」開催しました。

8月26日フレアス舞鶴の多目的ルームにて、てんつまCAFE(転勤族の妻の会)を開催しました。



多目的ルーム

フレアス舞鶴の周辺には、海上自衛隊の官舎や官公庁の合同宿舎があることから、託児ルームの利用者の半数以上が転勤族の方です。

知らない土地での生活は慣れるまで大変ですが、せっかく舞鶴に来たのだから舞鶴ライフを楽しんでほしい、舞鶴を好きになってほしいという思いから、このてんつまCAFEを開催することになりました。

第1回は、フレアス舞鶴をよく利用して下さる5組の親子が参加。この春に舞鶴に転入された方が多かったのですが、皆さんネットやSNSで舞鶴の情報を探し、7月から運用の始まった「まいココ」を毎日チェックして、子育て支援センターのイベントなどに積極的に参加されています。イベントに参加することで、新しいお友達ができて情報交換もされておられました。皆さん「舞鶴の子育て施設は充実している」と言われて下さいましたが、

子連れで行ける飲食店がほとんどない(ネット情報も少ない)や、舞鶴は田舎のせいで、定員が馴れ馴れしいという意見も(笑)。転入してまず知りたいことは、どこにスーパーがありどこが安いのか、野菜や魚はどこが新鮮かということが知りたい！という意見が多く、とても参考になりました。



お子さんも一緒に参加できるようキッズスペースを設けました。

また仕事については、1～2年で転勤になることや、働くには子供を保育園に預けない

といけないので、働きに出たくても難しいというのが現状でした。子育てしながら仕事復帰を目指すママを応援してられる「team.m」さんを紹介し、後日、託児ルームからZOOMを繋ぎ、team.mさんの活動の説明会を行いました。

これからも月1回集まり、舞鶴ライフが楽しくなるよう、皆さんの悩みに寄り添い、困りごとの解決や、やりたいことへのチャレンジなどができる会にしていきたいと考えています。



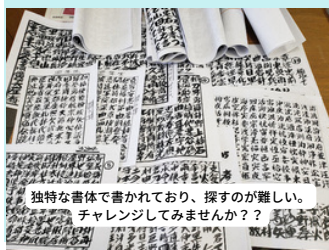
託児ルームにて、お子さんと一緒にZOOM説明会。

赤ちゃんからお年寄りまで集えるサロン

～利用者の声～



「頑張っとるかー？」と、毎日のようにフレアス舞鶴に顔を見せて下さる、安井正光さん(88歳)。20歳で海上自衛隊に入隊し、今に至るまで経験してきたことや、舞鶴のことをいつもお話しして下さいます。書道が得意で、筆でたくさんの漢字を書き、同じ漢字が10組あるのでそれを見つけ出すという脳トレプリントなどを毎回作って持って来て下さいます。これが意外と難しくなかなか見つけ出せません。お友達にも配り、ボケ防止に良いと人気だそうですよ。子供が大好きで、フレアス舞鶴に来る子供たちに優しく声をかけて下さる安井さん。



独特な書体で書かれており、探すのが難しい。チャレンジしてみませんか？

交流サロンはお気に入りの場所だと言って下さり、嬉しい限りです。大変お元気なので、いつもパワーをいただいています。

SNSはじめました。

フォローといいね
よろしくお願ひします



公式フレアス舞鶴
Instagram



公式フレアス舞鶴
Facebook